

矢野雄太

アフタヌーン・コンサート
with Legacy Piano



クラシックを聴きたくて

season 1

シューマンの愛と夢

Program

シューマン: 子供の情景より

1.見知らぬ国 2.不思議なお話し 3.鬼ごっこ 7.トロイメライ 他

シューマン: ウィーンの謝肉祭の道化 Op.26 「間奏曲」

ショパン: スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op.31

J.S.バッハ=ブゾーニ: シャコンヌ ニ短調 BWV1004 他

※曲目は変更になる場合があります。

福岡市美術館が贈る新シリーズ。

休日の午後、レガシーピアノでクラシック音楽を
気軽にお楽しみいただけるコンサートです。

第一弾は、ピアニスト・指揮者として
新たな才能を期待される矢野雄太の演奏をお届けします。
歌心満載、繊細で温かみのあるシューマンの世界を中心に
ピアノの名曲の数々をお楽しみください。

2026年

7月19日 日 福岡市美術館 ミュージアムホール

(福岡市中央区大濠公園1-6)

1st stage 開場 12:30 開演 13:00 (14:00 終演予定)

2nd stage 開場 15:00 開演 15:30 (16:30 終演予定)

※本公演はいずれも1時間程度で同プログラムです。いずれかを選択してチケットをお求めください。

【全席自由】 前売 2,000円 / 当日 2,500円 (税込) 4/18(土)より発売開始!

【プレイガイド】

- イープラス <https://eplus.jp/>
- チケットぴあ [Pコード 324-164] セブン-イレブン店内/WEB受付
- エムアンドエム 092-751-8257

チケット
購入
申込先



お問い合わせ: エムアンドエム 092-751-8257 (平日10:00~18:00)

矢野 雄太 ピアノ YUTA YANO, PIANO

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業後、同大学大学院修士課程修了。その後渡伊、ミラノ市立クラウディオ・アッパード音楽院指揮科を経て、ミラノ・スカラ座研修所にてコレペティツィオン、指揮を学び、修了。第3回チェルカスキー国際ピアノコンクール、チェルカスキー特別賞。第23回リナサラガッロ国際ピアノコンクール、バッハ特別賞。第13回アントニオ・ナポリターノ国際ピアノコンクール第1位。第1回クライスレリアーナ国際ピアノコンクール第1位。第32回バルセニア国際音楽コンクール第3位。他国内外のコンクールにおいて、優勝、入賞多数。ヨーロッパ、アジア、日本各地でリサイタル、室内楽、コンチェルトソリストとして演奏を行う。また、著名な楽器奏者、歌手とも多くの演奏会、音楽祭にて共演している。指揮者としては「カヴァレリア・ルスティカーナ」等を指揮、またミラノ・スカラ座「はじめに音楽、次に言葉」、「ジャンニスキッキ」、「リゴレット」、子供の為の「チェネレントラ」、上海・上音オペラハウス「魔笛」、その他、様々なオペラ公演でアシスタントを務める。イタリアにて、Mdiアンサンブル、ミラノクラシカ室内管弦楽団を指揮。東京文化会館主催「現代人形劇×クラシック音楽」では、音楽監督を務め、活動の幅を広げている。東京藝術大学及び東京藝術大学大学院(2026-)非常勤講師。2026年春にファーストアルバム「Schumann」をリリース。

矢野雄太オフィシャルサイト <https://yutayano.com>

CD好評発売中!



Schumann

矢野雄太(ピアノ)

ナクソス・ジャパンMYCL-00073
税込定価:3,410円

<収録曲>

シューマン作曲

アラベスク 八長調 作品18

子供の情景 作品15

花の曲 変二長調 作品19

くるみの木 作品25-3(「ミルテの花」作品25より)(クララ・シューマン編)

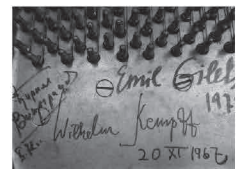
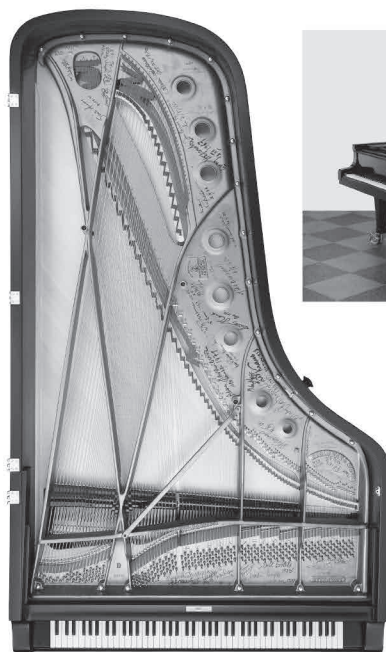
献呈 S.566 R.253(リスト編)

YUTA YANO

レガシーピアノとは

レガシーピアノと呼ばれるこのピアノは2023年11月に福岡市美術館へ収蔵されました。これは1963年に開館した福岡市民会館が購入したドイツ・スタインウェイ社製フルコンサートグランドピアノです。

以来、世界中の多くの演奏家たちがこのピアノでコンサートを行ってきましたが、60年の歳月で老朽化は免れず、演奏される機会もなくなり近年は静かに眠っていました。しかしながら、このピアノのフレームには40人もの著名な演奏家たちのサインが遺されており、一人の市民の声から2022年に「レガシーピアノ保存プロジェクト」が発足、福岡の音楽文化の遺産ともいべきこのピアノを修復し、次の世代に繋いでいこうという活動が始まりました。そうして多くの方々からの支援を得てこのピアノは生まれ変わり、2023年11月に福岡市美術館に収められました。これから再び福岡の音楽シーンでみなさまに愛され、演奏されていくことでしょう。



◎レガシーピアノに関する詳細は

<https://specials.nishinippon.co.jp/legacy-piano/>

